

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H23.10.31現在)

	10月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	8件	39件	0人	13人
平成22年度(昨年度)	8件	49件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

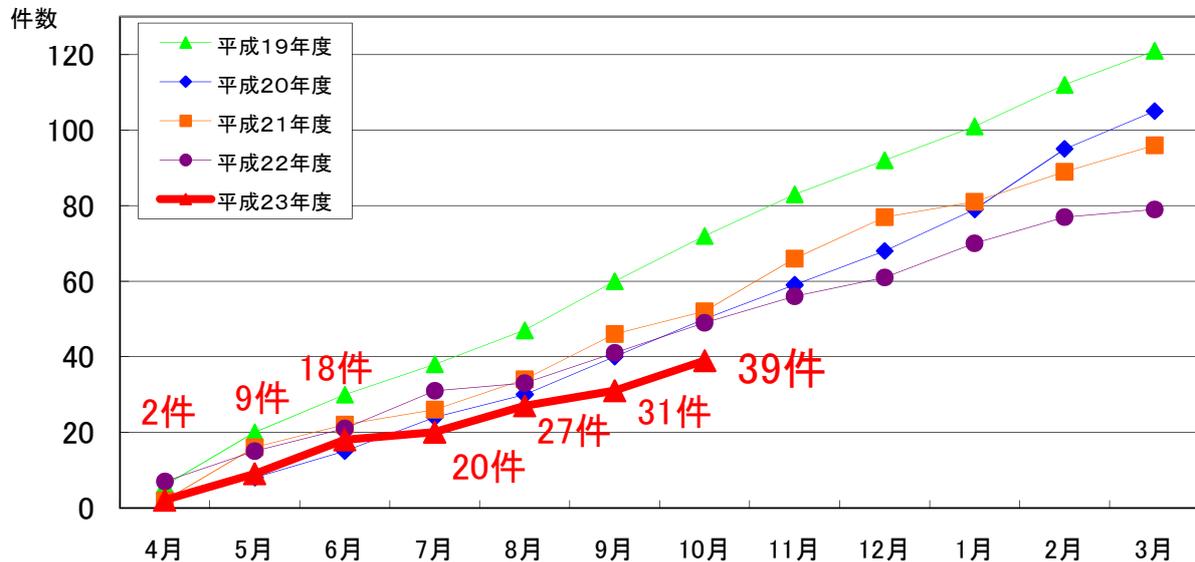
注2) 「10月発生件数」は、10/1～10/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～10/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～10/31の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

### ●工事事故件数



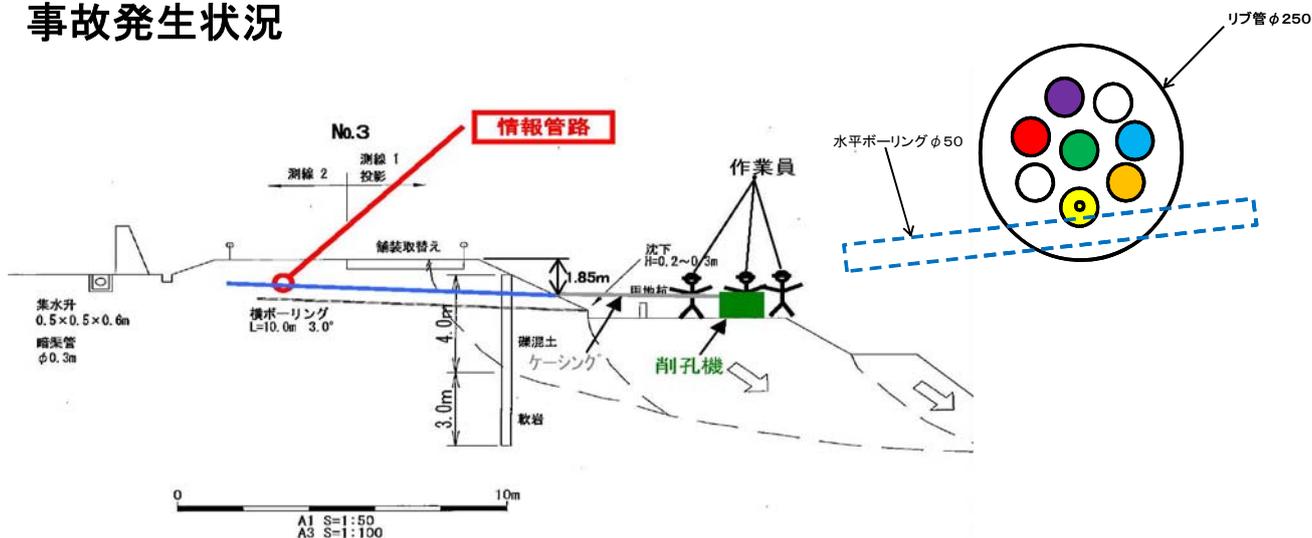
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	60件 (13件)	72件 (12件)	83件 (11件)	92件 (9件)	101件 (9件)	112件 (11件)	121件 (9件)
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	39件 (8件)					

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。



発生日時	平成 23 年 9 月 18 日 (日) 18 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	道路情報管路損傷	
事故概要	ボーリング掘削中に道路情報管路を損傷させたもの。				
公衆損害事故-地下埋設物件損傷					

### 事故発生状況



- ・地下水排除を目的とした水平ボーリング(L=10m)を実施中、情報管路(リブ管・塩ビ管)を損傷させたもの。
- ・φ250のリブ管に入っていた塩化ビニールパイプφ50の8条の内、1条を損傷。(事務所の保護管、光ケーブルに損傷はなかった)
- ・事前に埋設物有無の確認をしていなかったため、作業員が埋設物を把握していなかった。



現場状況



管路損傷状況

#### 【事故発生原因】

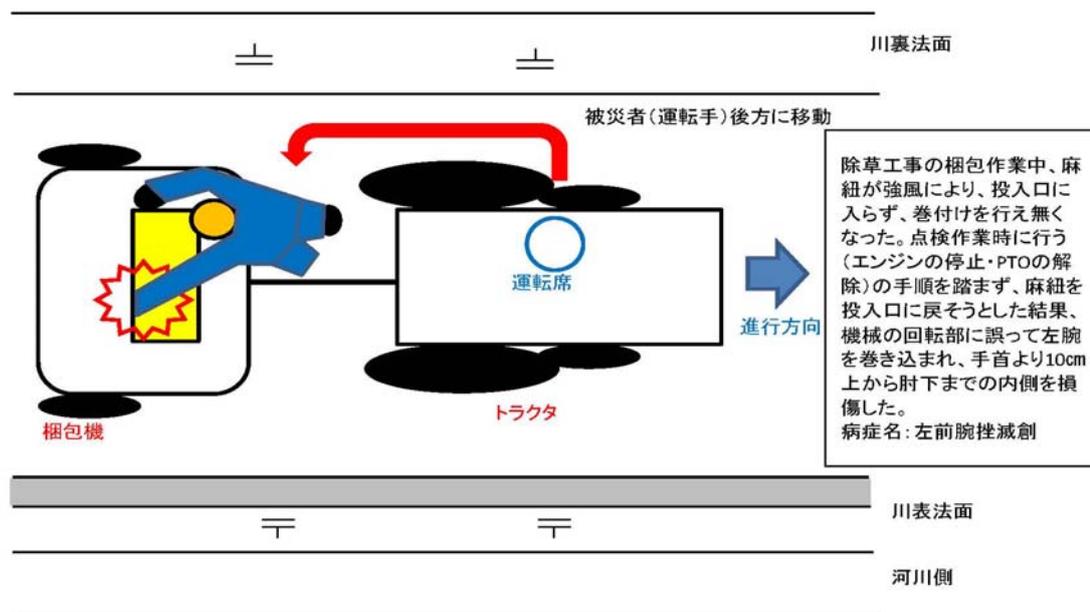
- ・地下埋設物について事前確認不足であるため。 など

#### 【事故防止のポイント】

- ・事前に台帳、管理者の立会い、試掘等により施工箇所地下埋設物を確認する。 など

発生日時	平成 23 年 9 月 19 日 (月) 16 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	36	作業員	左前腕挫減創	
事故概要	除草梱包作業中に作業員が梱包機に挟まれ負傷したものを。				
工事関係者事故－建設機械の稼働に関連した人身事故					

## 事故発生状況



### ・労基監督署より指導

○元請: 是正勧告書  
安衛法第29条第1項、

○1次下請: 是正勧告書、指導票  
安衛法第20条第1項(安衛則第107条第1項)、安衛法第100条第1項(安衛則第97条第1項)



### 【事故発生原因】

・作業員が動いている機械に手を入れてしまったこと。 など

### 【事故防止のポイント】

・梱包機の取り扱いについて注意事項を作業手順書に記載し、作業方法の周知・徹底を図る。 など

発生日時	平成 23 年 10 月 3 日 (月) 10 時 30 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	国道を走行中、対向車に気を取られ、車両のサイドミラーを電柱に接触させ損傷させたもの。				
	公衆損害事故ーその他公衆損害				

## 事故発生状況

接触箇所



・写真カーブ先から対向車(荷台に電柱を積んだトラック)が来たため、すれ違う際に左側へ寄ったところ、電柱に接触、サイドミラーを損傷させたもの。



官用車損傷状況

### 【事故発生原因】

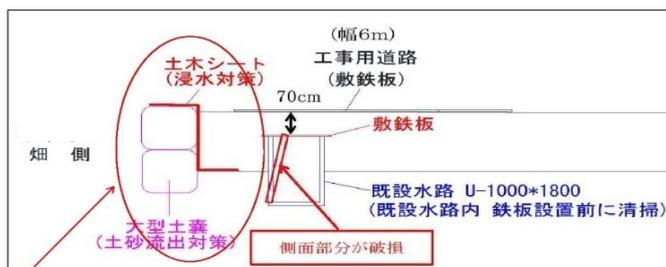
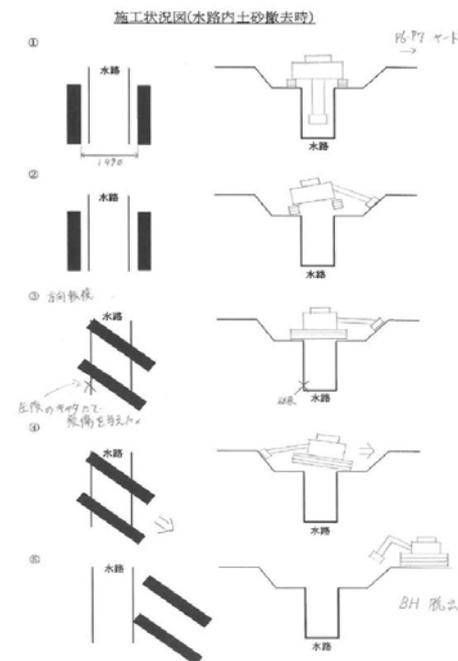
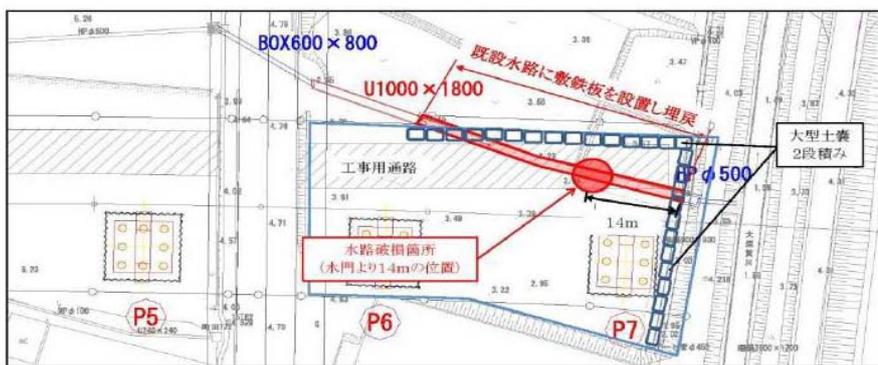
・運転手の左前方確認不足によるもの。

### 【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。  
 ・危険箇所での走行は周囲の障害物にも気をつけるよう指導すること。  
 など

発生日時	平成 23 年 10 月 5 日 (水) 14 時 0 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	水路損傷	
事故概要	基礎工施工後、水路が損傷されているのが発見されたもの。				
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

### 事故発生状況



この部分の撤去作業を行っていた。

・重機を方向転換させる際に、水路を養生せず行ったことで水路側壁下部に損傷を与えたと思われる。

水路破損状況



水路破損状況



#### 【事故発生原因】

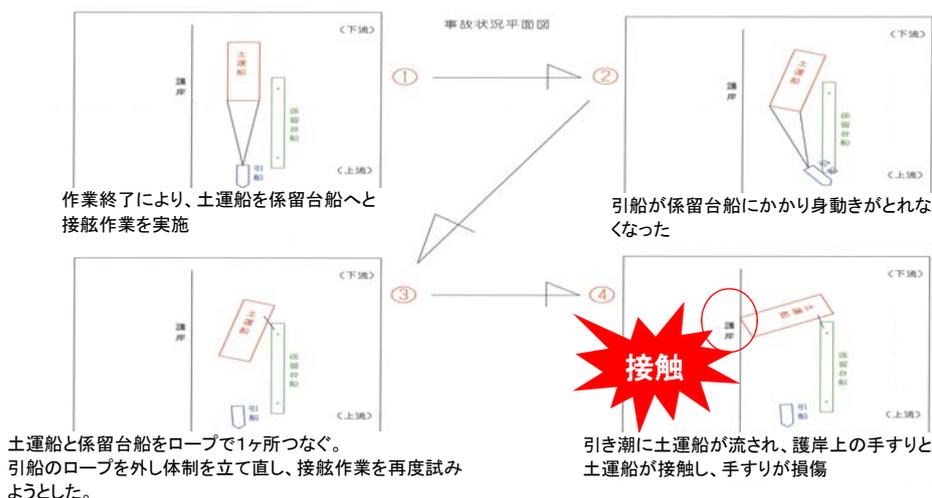
・重機が通る場所を養生せずに通行したこと。 など

#### 【事故防止のポイント】

・作業方向、養生方法を考慮した作業手順の作成と作業員への周知・徹底。 など

発生日時	平成 23 年 10 月 7 日 ( 金 )			15 時 8 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 河川しゅんせつ工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	手すり損傷		
事故概要	土運船を係留させた際に、岸壁に接触、手すりを負傷させたもの。					
公衆損害事故-その他公衆損害						

### 事故発生状況



作業終了により、引船が土運船係留場所(係留台船)に土運船(空船)を接舷作業しているとき、引船が係留台船に引っかかり身動きがとれなくなった。土運船と係留台船とで1箇所係留ロープを取り、引船のロープを外し引船の体制を立て直し接舷作業を再度試みたが引き潮に土運船が流され、護岸手摺と土運船が接触し、手摺が損傷した。



挟まったタイヤ



損傷状況

#### 【事故発生原因】

・焦りがあり、1箇所しか係留しなかったため。

など

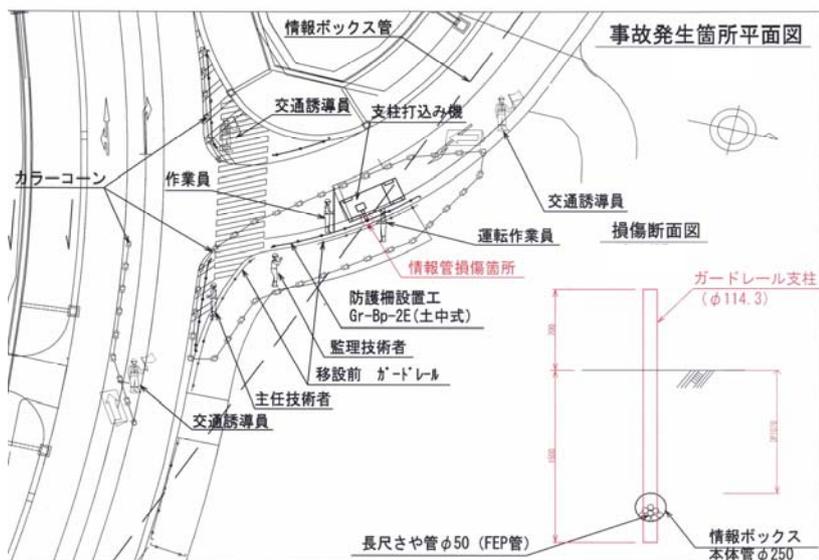
#### 【事故防止のポイント】

・予期できない事態であっても落ち着いて対応できるよう、日ごろから作業員への安全教育を実施する。

など

発生日時	平成 23 年 10 月 11 日 (火) 11 時 24 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	情報ボックス内光ケーブル損傷	
事故概要	ガードレールを打ち込み中、事務所情報ボックス内の光ケーブルを損傷させたもの。				
公衆損害事故-地下埋設物件損傷					

## 事故発生状況



占有企業の埋設物は図面、現地立会い依頼にて確認済み。

今回損傷した道路事務所管理の情報ボックスは、管理図からオフセットチェックを行い、想定位置を確認したが、試掘が必要なほど情報ボックスが近接しているという認識が無かった。

→位置の確認がされておらず損傷につながった。

ガードレール支柱打ち込み異常時



ガードレール支柱打ち込み完了(情報ボックス損傷)



損傷状況

### 【事故発生原因】

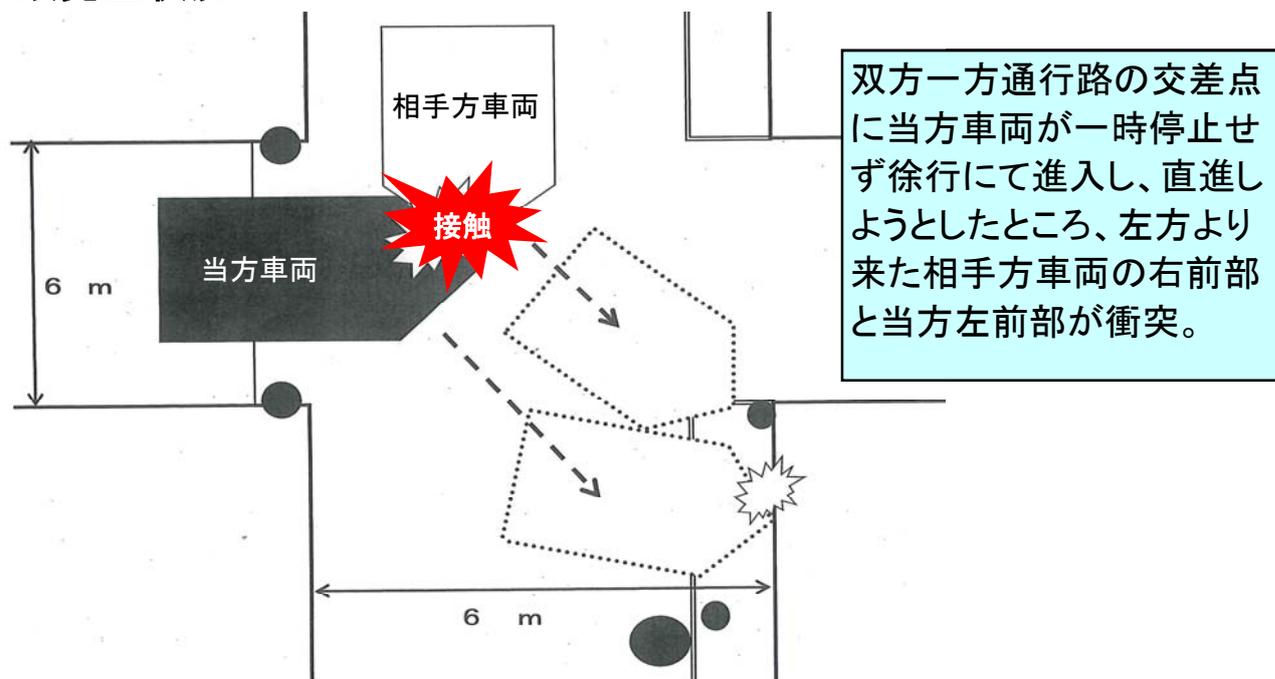
- ・埋設物の位置を想定のみで決定し、試掘等で確認していなかったため。
- など

### 【事故防止のポイント】

- ・埋設物の存在がわかっている場合は必ず試掘を行い、位置を確認すること。
- など

発生日時	平成 23 年 10 月 13 日 ( 木 )			9 時 41 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	49, 50	同乗者	胸部挫傷、頸部挫傷、相手方車両、官用車損傷		
事故概要	一般道を走行中、一時停止を怠り交差点に進入したところ、一般車両と接触し、同乗していた職員が負傷したもの。					
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

## 事故発生状況



車両損傷状況

### 【事故発生原因】

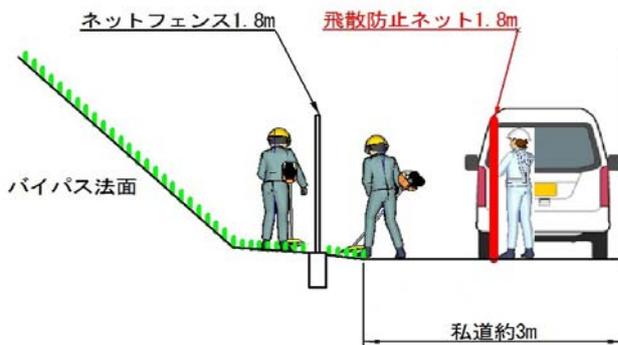
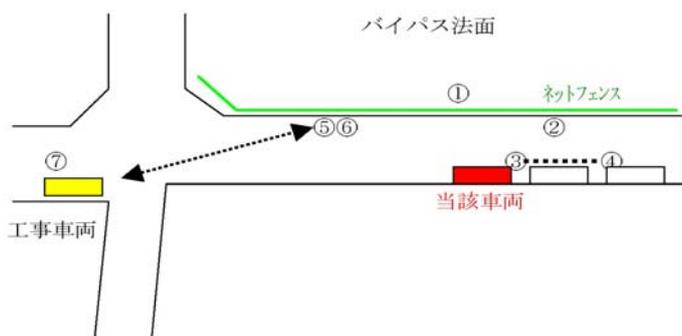
・運転手が標識がある場所にて一時停止を怠り、左方向の安全確認をしなかったため。

### 【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。  
 ・交差点では周囲の確認をするよう運転手に再度教育を実施すること。  
 など

発生日時	平成 23 年 10 月 20 日 ( 木 ) 16 時 0 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般車両窓ガラス損傷	
事故概要	除草作業中、飛石により停車していた一般車両の窓ガラスを損傷させたもの。				
公衆損害事故 - 第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

### 事故発生状況



ネットフェンスの両サイドで除草していた。  
作業を進めるにつれ、進捗に差が発生し、両方の飛散防止対策をおこなっていたネットが追いつかなくなり、飛石につながったもの。



現場作業状況



車両損傷状況

#### 【事故発生原因】

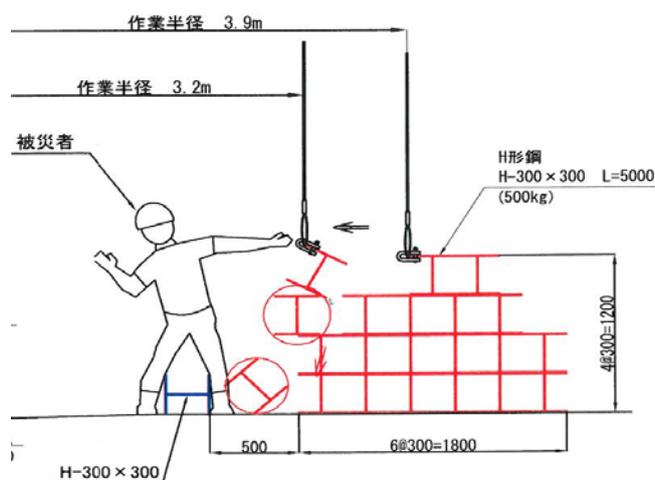
- 無理な作業員の配置で作業を実施したため、飛散防止対策が不十分になってしまったため。

#### 【事故防止のポイント】

- 飛散防止対策は十分におこなうこと。
- 作業内容に不備がないような作業計画を立て、作業員に周知・徹底すること。  
など

発生日時	平成 23 年 10 月 26 日 (水) 10 時 10 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	53	作業員	右足脛骨折	
事故概要	H鋼をクレーン機能付バックホウにて吊り上げた際に荷崩れをおこし、作業に接触、負傷したものの。  工事関係者事故-運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷				

## 事故発生状況



現場状況

・被災者は、資材置場にて仮囲いのB形フェンスを固定するH形鋼(300×300 L=5.0m 500kg)に玉掛けをして離れた。

・離れたことを確認したオペレータはH形鋼を吊り上げながら手前に引き寄せたところに被災者が近づいた。

・吊り荷の下にあったH形鋼が地面に落ちて倒れた際に、仮置きしていたH形鋼との間に右足をはさまれ負傷したものの。

### 【事故発生原因】

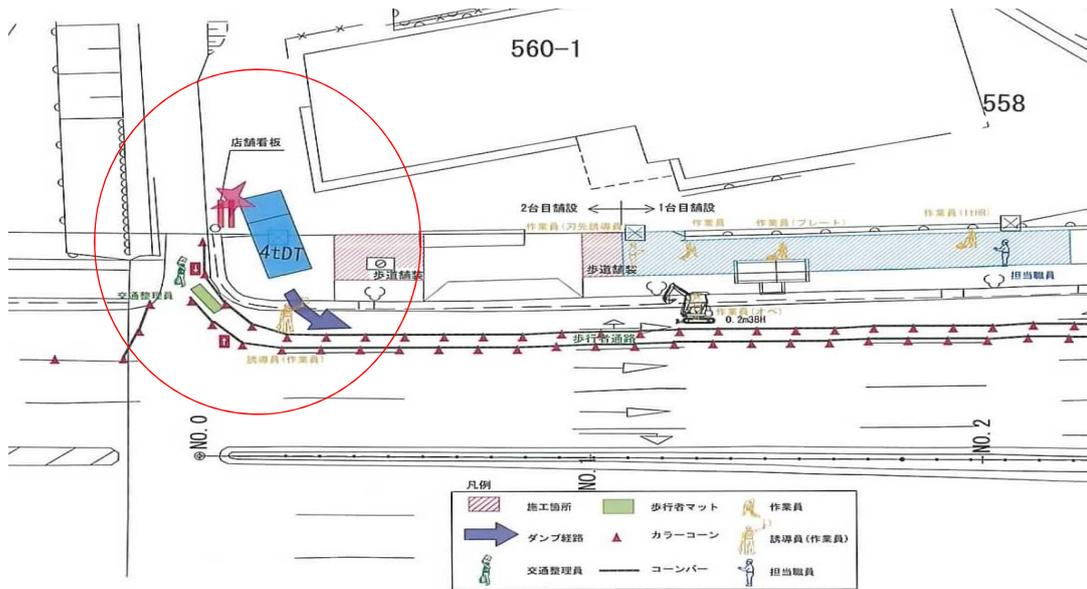
・あいまいな合図方法により、玉掛と吊り上げのタイミングがずれてしまったため。  
など

### 【事故防止のポイント】

・合図者、玉掛者を明確にし、各作業内容を作業員に周知・徹底する。  
など

発生日時	平成 23 年 10 月 28 日 (金) 15 時 45 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	店舗看板損傷	
事故概要	現場で合材を積んだ4tダンプが店舗の看板に接触、損傷させたもの。				
	公衆損害事故- 第三者の負傷・第三者車両に対する損害				

### 事故発生状況



- ・資材運搬のための4tダンプが方向転換のため、無断で民地を使用。
- ・現場の作業員は無断で民地を使用していたことを把握していた。



現地状況



看板損傷状況

#### 【事故発生原因】

- ・作業計画に反した方法で方向転換を行ったため。
- ・運転手の左前方確認不足によるもの。  
など

#### 【事故防止のポイント】

- ・現場にあった安全な作業計画を立て、作業員に周知・徹底する。
- ・運転の際には周囲を確認する。  
など